

◎基本情報

事務事業名	人権啓発推進事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例、鳴門パートナーシッププランⅡ(セカンド)ステージ		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	6年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		人権				
施策	1	人権の尊重				
基本事業	1	人権行政の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「人権」に関して理解と認識を深め、問題意識を持ってもらい、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、だれもが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	人権セミナーとして、人権問題を2回(うち同和問題を1回)、子どもの人権等の問題を1回の計3回実施する。セミナー参加者へのアンケートの結果を踏まえ、講演会形式の啓発だけでなく、スポーツと連携した人権啓発活動を実施する。 ①他のイベントと重ならないように、開催時期を検討・調整して実施し、市民が参加しやすい環境を整える。 ②人権啓発活動地方委託事業委託金の要求や執行を見直すとともに、健康政策課や子どもいきいき課など関係各課が所管する各種事業と連携し、お互いの強みを生かした財源措置を講じることで、魅力的な講師・講演内容によるセミナーとし、より多くの市民に参加してもらおう。 ③引き続き、鳴門教育大学との連携を深め、授業の一部としてセミナーの活用を積極的に働きかける。 ④徳島インディゴソックスなど地元のスポーツクラブと連携した人権スポーツ教室を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		人権セミナーへの参加者数	570	500	500	500	500	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	人権セミナーを3回(うち同和問題、子どもの人権、さまざまな人権問題を各1回)実施。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。また、健康政策課や子どもいきいき課など関係各課と連携し、魅力的な講師、講演内容によるセミナーを1回、女性の人権に関するセミナーを1回実施し、市民等に参加してもらった。 人権の花運動では、対象となる第一中学校区の3小学校にて実施。 平成27年度からの新規事業として、徳島インディゴソックス・日赤徳島支部との連携による「ふれあい人権スポーツ教室」を3児童クラブで実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 人権セミナー等開催回数	5	5	4	4	4	回
	2 出張出前講座(男女共同参画推進条例含む)実施回数	41	27	35	35	35	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	人権セミナーへの参加者数	495	420	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		84.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	308	0	0	7	315
		補正予算額	0	0	0	0	9	9
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	308	0	0	16	324
		決算額	0	305	0	0	19	324
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.1	0.0		713		1,037	

【事務事業名：人権啓発推進事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	442	324	335	335	335
	うち一般財源	13	19	17	17	17
	人件費	686	713	713	713	713
	総事業費	1,128	1,037	1,048	1,048	1,048

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		子どもの人権や部落差別問題等をテーマとしたセミナーを3回実施し、幅広い世代への人権啓発を図った。徳島インディゴソックスとの連携による「ふれあい人権スポーツ教室」では、3児童クラブからスポーツを通じて人権問題の取り組み手法を感じ取ってもらい、機会があれば開催してほしいとの要望等が寄せられた。
	効率性	B:概ね効率的だった		セミナーを開催することで、さまざまな人権問題の意識が高まっている。人権スポーツ教室による、幼少期の年代への人権啓発が図れた。
②成果に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数		セミナーチラシ等による周知を行ったが、市主催の各種イベント等の重複などもあり、目標人数は達成しなかった。さまざまな観点(子どもに関する人権、SNSによる部落差別問題、さまざまな人権問題)から、人権問題を考えるセミナーを実施し、人権啓発の目標は達成できた。
	目標	500	人	
	実績	420	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		人権セミナー開催で、さまざまな人権問題についての意識が高まっているが、イベント等の重複がないよう調整する。ふれあい人権スポーツ教室では、幼少期の年代と保護者世代等への人権啓発を行った。今後も人権啓発に努めることからB評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人権セミナーと市開催のイベント等との重複がないよう調整を行い、集客が増えるよう開催時期を検討する。また、魅力ある人権セミナーを開催するために、市民等が興味や関心をもてるよう、さまざまな視点からの人権を考え、開催することが重要となる。引き続き、県人権啓発事業委託金を活用し継続実施できるように、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。
----	--

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
--------	------	-------	--------	------	---

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	平成29年度	セミナーとイベント重複がないよう日程調整を行い、セミナーを開催する。また、さまざまな人権啓発の一環として、「鳴門市男女共同参画推進条例」のパンフレット配布や人権パネル展示による啓発も行う。引き続き、県の人権啓発事業委託金を活用して、各種関係団体等と連携して、市民等に啓発活動の充実を図っていく。
	平成30年度	人権セミナー・人権スポーツ教室等を開催し、人権啓発に努める。また、鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発を行う。